

岐阜大学で、スーパーハイスクールセッション SSS に参加しました

6月17日（日）岐阜県内のSSH・SGH・SPH・FSHの学校の生徒が集まり、「岐阜県の活性化～地域の課題を発見し、解決策を提案しよう！～」というテーマについてセッションを行いました。



▲会場：岐阜大学図書館 アカデミックコア

参加した恵那高生5名は、他校の生徒と1班から7班の各グループにわかれ、課題をもとにグループ毎にテーマを決め、意見交換をしました。



各班には岐阜大学の現役学生が加わり、大学のゼミさながらに助言をしていただきました。

課題1

日本各地で移住定住策を講じている中、岐阜県に来てもらうにはためにはどうしたらよいか？

課題2

岐阜県の独自性があり、地域産業を活性化させることのできる新しい特産品は開発できるか？

課題3

災害等による避難が必要になった場合の支援等が必要な人たちに対するサポート体制は、どうすればよいか？

午後からは「データから見た岐阜県」という題目で、岐阜県の県政説明をしていただき、テーマの絞り込みをしました。



付箋やホワイトボードを活用し意見を集約しながら、お互いの考えを深めていきました。



今後、7月8日、8月2日、8月21日に3回のセッションを行い、岐阜県の未来の姿を求めて、高校生ならではの解決策を見いだしていく予定です。